

件名：平成25年度渋川市総合防災訓練の実施について

1. 目的 地震や台風等の各種災害の発生に対する防災対策に万全を期するため、渋川市地域防災計画に基づき、市及び各防災関係機関並びに市民参加のもと渋川市総合防災訓練を実施し、市民と防災関係機関の災害発生時の防災活動に関する責任と自覚及び技術の向上を図るとともに、防災意識の向上を目的とする。

2. 日時及び会場

- (1) 日時 平成25年11月10日(日) 午前9時～正午
※雨天決行、荒天中止(午前6時決定)
- (2) 会場 渋川市北橋総合グラウンド(渋川市北橋町真壁658番地先)

3. 主催及び参加機関(参加予定人員：約800人)

- (1) 主催 渋川市
- (2) 訓練協力団体
渋川市自治会連合会、渋川広域消防本部、渋川広域消防署、渋川市消防団、渋川市女性防火クラブ、渋川警察署、渋川市アマチュア無線非常通信協議会、渋川総合病院、陸上自衛隊第48普通科連隊、群馬県建設業協会渋川支部、群馬県ドクターヘリ、日本赤十字社群馬県支部、赤十字飛行隊群馬県支隊、群馬県赤十字飛行隊支援奉仕団、赤十字奉仕団渋川市地区委員会、渋川市社会福祉協議会、渋川市民生委員児童委員協議会、国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所、東日本電信電話株式会社群馬支店、東京電力株式会社群馬支店渋川支社、三国コカコーラボトリング株式会社群馬支店前橋営業所

4. 訓練想定

- (1) 群馬県南西部を震源域とするマグニチュード8.1、震度6弱の地震が発生
- (2) この地震の発生により木造家屋の倒壊及び火災の発生、急傾斜地の崩壊による多重交通事故が発生したほか、電気・水道・電話等のライフラインに大きな被害が発生した。

5. 訓練内容

- 1 市民と防災関係機関が連携して行う訓練
- (ア) 避難訓練、避難誘導訓練
 - (イ) 救出訓練(倒壊家屋からの負傷者救出)
 - (ウ) 初期消火訓練
 - (エ) 避難所開設訓練
 - (オ) 支援物資搬送訓練
 - (カ) 炊き出し訓練、配食訓練
- 2 防災関係機関が行う訓練
- (ア) 災害対策本部設置及び運営訓練
 - (イ) 情報伝達訓練
 - (ウ) 災害ボランティアセンター開設及び運営訓練
 - (エ) 映像伝達訓練
 - (オ) 孤立集落救助訓練
 - (カ) 多数傷病者救助訓練
 - (キ) 医療物資搬送訓練
 - (ク) 道路復旧訓練
 - (ケ) 警察機能移転訓練

3 体験訓練

- (ア) A E D操作
- (イ) 煙体験
- (ウ) 消火器取扱体験
- (エ) 自然災害体験
- (オ) 災害用伝言ダイヤル体験
- (カ) 多数傷病者救助訓練
- (キ) 土のう作成体験
- (ク) 災害対応型自動販売機使用方法
- (ケ) 車いす、高齢者疑似体験

4 啓発、展示

- (ア) 住宅用火災警報器普及啓発
- (イ) 住宅耐震化普及啓発
- (ウ) 防災備蓄品、防災パネル展示
- (エ) 緊急車両等展示
- (オ) 防災学習クイズ

6. これまでの実績

- ・平成20年度 … 子持地区で実施し、539名が参加
- ・平成22年度 … 小野上地区で実施し、353名が参加
- ・平成23年度 … 伊香保地区で実施し、約400名が参加
- ・平成24年度 … 合併後初めて、市内全域を対象とした総合防災訓練を実施。
行幸田地内の警察署建設予定地で実施し、約800名が参加。

7. 本年度訓練の特徴

- ・昨年度と同じく市内全域を参加対象とした総合防災訓練を実施し、参加予定人員約800人を予定している。
- ・避難所における、避難者と民生委員、災害ボランティアの連携訓練を行う。なお、民生委員の参加は初めてである。
- ・災害ボランティアセンターのマッチング及びニーズ派遣を行う。
- ・障害者・高齢者など要援護者を想定した避難誘導活動を行う。
- ・孤立集落を想定した、ヘリコプターによる救助を行う。
- ・多重衝突事故に伴う救助活動、DMAT、ドクターヘリ、赤十字飛行隊との連携した救助活動を行う。
- ・自衛隊と連携した救助活動及び被災者支援活動（炊き出し）を行う。陸上自衛隊第48普通科連隊の訓練への参加は初めてである。
- ・会場で防災学習〇×クイズを行い、参加者に防災について楽しく学習してもらう共に子どもの参加を期待している。
- ・警察庁舎倒壊により、警察機能を市施設に移転する訓練を行う。